

運用報告書 (全体版)

高金利通貨ファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	原則、無期限です。	
運用方針	グローバル高金利通貨マザーファンド受益証券を主要投資対象として、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。	
主要投資対象	高金利通貨ファンド	グローバル高金利通貨マザーファンド受益証券。
	グローバル高金利通貨マザーファンド	世界各国の公社債。
運用方法	主としてグローバル高金利通貨マザーファンドへの投資を通じて、国際機関債や政府機関債、州政府債を中心とする信用力の高い公社債に実質的に分散投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。公社債の実質組入比率は、原則として高位を保ちます。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
組入制限	高金利通貨ファンドのグローバル高金利通貨マザーファンド組入上限比率	制限なし。
	グローバル高金利通貨マザーファンド	株式への投資割合は、転換社債の転換および新株予約権の行使により取得したものに限り、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の金額とします。分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益を基礎として安定した分配を行うことを目標に決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。上記にかかわらず、上記にかかる分配金額のほか、分配対象額の範囲内で基準価額水準や市況動向等を勘案して委託者が決定する額を付加して分配する場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

第173期	<決算日	2022年10月11日>
第174期	<決算日	2022年11月8日>
第175期	<決算日	2022年12月8日>
第176期	<決算日	2023年1月10日>
第177期	<決算日	2023年2月8日>
第178期	<決算日	2023年3月8日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「高金利通貨ファンド」は、2023年3月8日に第178期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

高金利通貨ファンド

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基 準 価 額 (分配落)	準 価 額			債券組入率 %	債券先物率 %	純 資 産 額 百万円
			税 込 分 配	み 金 期 騰 落	中 率			
第26作成期	149期(2020年10月8日)	円 3,621	円 20	% △1.4	95.8	—	3,671	
	150期(2020年11月9日)	3,605	20	0.1	95.7	—	3,613	
	151期(2020年12月8日)	3,724	20	3.9	95.5	—	3,699	
	152期(2021年1月8日)	3,714	20	0.3	95.4	—	3,647	
	153期(2021年2月8日)	3,787	20	2.5	95.8	—	3,686	
	154期(2021年3月8日)	3,726	20	△1.1	95.7	—	3,599	
第27作成期	155期(2021年4月8日)	3,715	20	0.2	96.0	—	3,516	
	156期(2021年5月10日)	3,792	20	2.6	96.7	—	3,566	
	157期(2021年6月8日)	3,841	20	1.8	96.3	—	3,563	
	158期(2021年7月8日)	3,757	20	△1.7	95.3	—	3,470	
	159期(2021年8月10日)	3,740	20	0.1	95.2	—	3,419	
	160期(2021年9月8日)	3,791	20	1.9	95.9	—	3,444	
第28作成期	161期(2021年10月8日)	3,686	20	△2.2	95.8	—	3,330	
	162期(2021年11月8日)	3,698	20	0.9	96.2	—	3,319	
	163期(2021年12月8日)	3,495	20	△4.9	94.9	—	3,119	
	164期(2022年1月11日)	3,538	20	1.8	94.6	—	3,145	
	165期(2022年2月8日)	3,577	20	1.7	95.7	—	3,150	
	166期(2022年3月8日)	3,381	20	△4.9	97.1	—	2,947	
第29作成期	167期(2022年4月8日)	3,733	20	11.0	96.8	—	3,234	
	168期(2022年5月9日)	3,768	20	1.5	96.1	—	3,242	
	169期(2022年6月8日)	3,847	20	2.6	95.3	—	3,286	
	170期(2022年7月8日)	3,725	20	△2.7	95.4	—	3,152	
	171期(2022年8月8日)	3,737	20	0.9	96.4	—	3,147	
	172期(2022年9月8日)	3,943	20	6.0	95.2	—	3,280	
第30作成期	173期(2022年10月11日)	3,844	20	△2.0	96.4	—	3,176	
	174期(2022年11月8日)	3,949	20	3.3	95.4	—	3,247	
	175期(2022年12月8日)	3,736	20	△4.9	95.0	—	3,046	
	176期(2023年1月10日)	3,661	20	△1.5	95.6	—	2,953	
	177期(2023年2月8日)	3,593	20	△1.3	95.0	—	2,887	
	178期(2023年3月8日)	3,699	20	3.5	98.2	—	2,948	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注4) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注5) △(白三角) はマイナスを意味しています(以下同じ)。

■過去6ヶ月間の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
		円	騰 落 率		
第 173 期	(期 首) 2022 年 9 月 8 日	3,943	—	95.2	—
	9 月 末	3,826	△3.0	95.5	—
	(期 末) 2022 年 10 月 11 日	3,864	△2.0	96.4	—
第 174 期	(期 首) 2022 年 10 月 11 日	3,844	—	96.4	—
	10 月 末	3,945	2.6	95.8	—
	(期 末) 2022 年 11 月 8 日	3,969	3.3	95.4	—
第 175 期	(期 首) 2022 年 11 月 8 日	3,949	—	95.4	—
	11 月 末	3,821	△3.2	95.7	—
	(期 末) 2022 年 12 月 8 日	3,756	△4.9	95.0	—
第 176 期	(期 首) 2022 年 12 月 8 日	3,736	—	95.0	—
	12 月 末	3,661	△2.0	95.6	—
	(期 末) 2023 年 1 月 10 日	3,681	△1.5	95.6	—
第 177 期	(期 首) 2023 年 1 月 10 日	3,661	—	95.6	—
	1 月 末	3,650	△0.3	95.8	—
	(期 末) 2023 年 2 月 8 日	3,613	△1.3	95.0	—
第 178 期	(期 首) 2023 年 2 月 8 日	3,593	—	95.0	—
	2 月 末	3,704	3.1	97.4	—
	(期 末) 2023 年 3 月 8 日	3,719	3.5	98.2	—

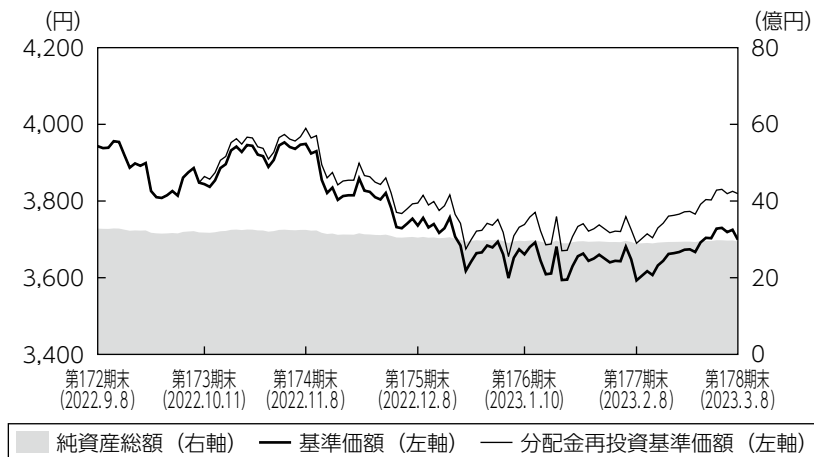
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■第173期～第178期の運用経過（2022年9月9日から2023年3月8日まで）

基準価額等の推移



第173期首： 3,943円
第178期末： 3,699円
(既払分配金120円)
騰落率： △3.1%
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

基準価額は下落しました。主要な先進国・新興国において進んだ金融引き締めの結果、世界経済の先行きに慎重な見方が優勢となり、各国のインフレ率についてもピークアウトの傾向が見られたことから、各国中央銀行における、先行きの金融引き締め姿勢については抑制的なものに変化するとの見方が広がりました。その結果、内外の金融政策格差の拡大を背景に進んでいた、主要通貨に対する大幅な円安の一部が巻き戻されたことが主な基準価額の下落要因となりました。

投資環境

債券市場では、多くの投資国の国債利回りが上昇（価格は下落）しました。多くの国でインフレが高水準にある中、その沈静化のため、各国の中央銀行が政策金利の引き上げを続けたことが主な要因となりました。投資国中では、メキシコの国債利回りが特に大きく上昇しました。同国中央銀行は、当期中あった4回の金融政策決定会合において計2.50%政策金利を引き上げるなど、主要な新興国の中央銀行の中でも特にタカ派的な政策姿勢が目立ったことが主な要因となりました。

為替市場では、多くの主要な先進国・新興国通貨に対する円高が進みました。期初から10月半ばにかけては、内外の金融政策の方向性の違いから、前期からの円安傾向が継続しましたが、その後は、多くの国でインフレ率が鈍化傾向となったことで、諸外国の中央銀行における先行きの金融引き締め姿勢については抑制的なものに変化するとの見方が広がり、円高傾向で推移しました。

ポートフォリオについて

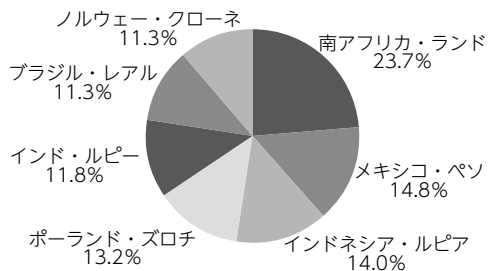
●当ファンド

当ファンドの主要投資対象である、グローバル高金利通貨マザーファンドの組入比率を期を通じて高位に維持しました。

●グローバル高金利通貨マザーファンド

マザーファンドの運用では、高金利通貨建の国際機関債を中心に、信用力の高い公社債の高位組み入れを維持しました。通貨配分に関しては、北米・中南米、アジア・オセアニア、中東・アフリカ、欧州の4地域について各25%程度とし、市場動向等に鑑み比率の調整を行いました。当期は、2023年に予定されるトルコ大統領選挙・総選挙に向けて各種政策リスクの高まりが懸念されることから、2022年9月より同国の組み入れを停止し、南アフリカの比率を拡大しました。

グローバル高金利通貨マザーファンドの債券通貨別構成比（当作成期末）



※比率は、組入債券全体に対する評価額の割合です。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第173期	第174期	第175期	第176期	第177期	第178期
	2022年9月9日 ~2022年10月11日	2022年10月12日 ~2022年11月8日	2022年11月9日 ~2022年12月8日	2022年12月9日 ~2023年1月10日	2023年1月11日 ~2023年2月8日	2023年2月9日 ~2023年3月8日
当期分配金（税引前）	20円	20円	20円	20円	20円	20円
対基準価額比率	0.52%	0.50%	0.53%	0.54%	0.55%	0.54%
当期の収益	14円	15円	12円	12円	10円	12円
当期の収益以外	5円	4円	7円	7円	9円	7円
翌期繰越分配対象額	595円	590円	583円	576円	567円	559円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

当ファンドの運用方針については、引き続き当ファンドの主要投資対象である、グローバル高金利通貨マザーファンドを通じて実質的な運用を行います。今後もマザーファンドの組入比率を高位に維持します。

●グローバル高金利通貨マザーファンド

新興国債券・為替市場は、ほぼすべての主要な先進国・新興国における金融引き締め動きが継続するとともに、それに伴う世界景気の先行き不透明感が増す状況下、選別的な動きが強まるものと考えます。各国の金融政策姿勢、ファンダメンタルズや政治情勢その他、個別に抱える課題は異なることなどから、国ごとのパフォーマンスが異なる展開を想定しており、これに留意した投資国の選別や配分を行う方針です。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第173期～第178期 (2022年9月9日 ～2023年3月8日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	20円	
(投信会社)	(9)	(0.245)	
(販売会社)	(10)	(0.272)	
(受託会社)	(1)	(0.027)	
(b) その他費用	0	0.009	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	(0)	(0.007)	
(監査費用)	(0)	(0.002)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	21	0.552	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

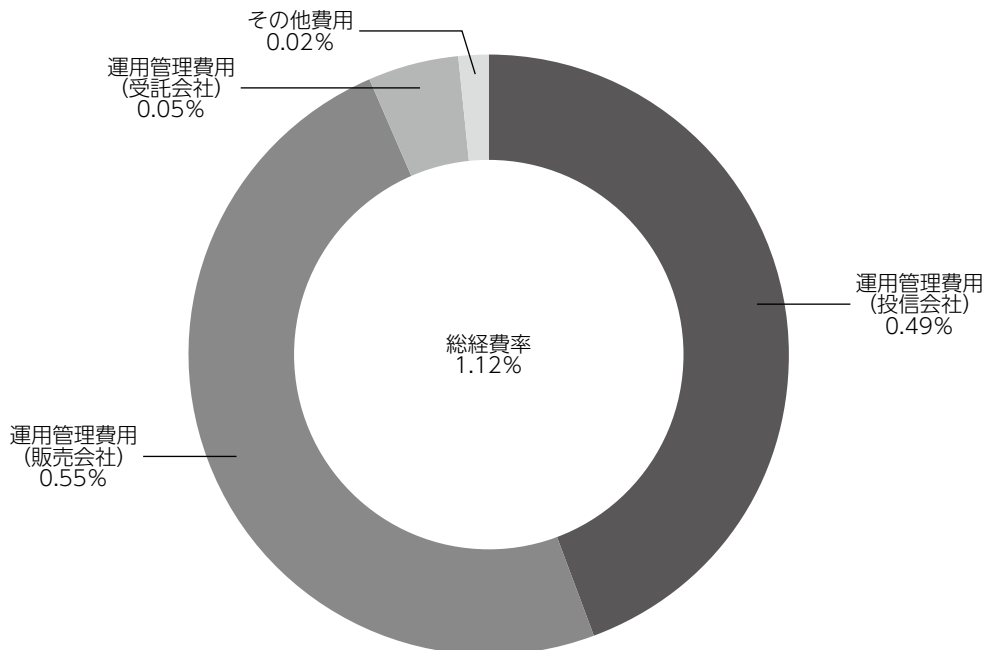
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.12%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2022年9月9日から2023年3月8日まで）

	第 173 期 ~ 第 178 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
グローバル高金利通貨マザーファンド	千□ -	千円 -	千□ 172,537	千円 220,400

■利害関係人との取引状況等（2022年9月9日から2023年3月8日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

親投資信託残高

	第 29 作 成 期 末		第 30 作 成 期 末	
	□ 数	金 額	□ 数	評 価 額
グローバル高金利通貨マザーファンド	千□ 2,467,871	千円 2,467,871	千□ 2,295,333	千円 2,937,108

■投資信託財産の構成

2023年3月8日現在

項 目	第 30 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
グローバル高金利通貨マザーファンド	2,937,108	98.8
コール・ローン等、その他	34,283	1.2
投資信託財産総額	2,971,392	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末のグローバル高金利通貨マザーファンドの外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、2,933,858千円、99.9%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2023年3月8日における邦貨換算レートは、1ノルウェー・クローネ=12.83円、1メキシコ・ペソ=7.587円、1インド・ルピー=1.68円、100インドネシア・ルピア=0.90円、1ブラジル・リアル=26.449円、1南アフリカ・ランド=7.38円、1ポーランド・ズロチ=30.878円、1ユーロ=144.82円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年10月11日)、(2022年11月8日)、(2022年12月8日)、(2023年1月10日)、(2023年2月8日)、(2023年3月8日)現在

項 目	第 173 期 末	第 174 期 末	第 175 期 末	第 176 期 末	第 177 期 末	第 178 期 末
(A) 資 産	3,199,787,800円	3,267,822,675円	3,070,653,046円	2,973,649,936円	2,906,233,155円	2,971,392,304円
コール・ローン等	25,511,852	26,958,139	15,028,405	42,104,961	33,273,143	34,283,371
グローバル高金利通貨マザーファンド(評価額)	3,164,275,948	3,210,864,536	3,013,624,641	2,931,544,975	2,872,960,012	2,937,108,933
未 収 入 金	10,000,000	30,000,000	42,000,000	-	-	-
(B) 負 債	22,946,575	20,615,571	24,288,131	19,834,229	18,765,631	23,301,645
未払収益分配金	16,529,201	16,447,354	16,308,206	16,138,184	16,072,304	15,938,091
未 払 解 約 金	3,208,670	1,434,635	5,142,711	708,325	120,019	4,877,077
未 払 信 託 報 酬	3,198,202	2,724,636	2,827,924	2,977,935	2,564,882	2,478,335
その他未払費用	10,502	8,946	9,290	9,785	8,426	8,142
(C) 純資産総額(A-B)	3,176,841,225	3,247,207,104	3,046,364,915	2,953,815,707	2,887,467,524	2,948,090,659
元 本	8,264,600,532	8,223,677,242	8,154,103,161	8,069,092,251	8,036,152,027	7,969,045,502
次期繰越損益金	△5,087,759,307	△4,976,470,138	△5,107,738,246	△5,115,276,544	△5,148,684,503	△5,020,954,843
(D) 受 益 権 総 口 数	8,264,600,532口	8,223,677,242口	8,154,103,161口	8,069,092,251口	8,036,152,027口	7,969,045,502口
1万口当たり基準価額(C/D)	3,844円	3,949円	3,736円	3,661円	3,593円	3,699円

(注) 第172期末における元本額は8,320,861,839円、当作成期間(第173期～第178期)中における追加設定元本額は28,196,283円、同解約元本額は380,012,620円です。

■損益の状況

〔自 2022年9月9日 至 2022年10月11日〕〔自 2022年10月12日 至 2022年11月8日〕〔自 2022年11月9日 至 2022年12月8日〕〔自 2022年12月9日 至 2023年1月10日〕〔自 2023年1月11日 至 2023年2月8日〕〔自 2023年2月9日 至 2023年3月8日〕

項 目	第 173 期	第 174 期	第 175 期	第 176 期	第 177 期	第 178 期
(A) 配 当 等 収 益	△1,314円	△1,039円	△1,560円	△1,248円	△186円	△217円
受 取 利 息	3	1	8	8	-	-
支 払 利 息	△1,317	△1,040	△1,568	△1,256	△186	△217
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△61,850,559	105,262,872	△154,179,498	△41,649,958	△35,645,902	103,149,109
売 買 益	374,725	105,588,583	1,018,817	381,543	184,049	103,648,921
売 買 損	△62,225,284	△325,711	△155,198,315	△42,031,501	△35,829,951	△499,812
(C) 信 託 報 酬 等	△3,208,704	△2,733,582	△2,837,214	△2,987,720	△2,573,308	△2,486,477
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△65,060,577	102,528,251	△157,018,272	△44,638,926	△38,219,396	100,662,415
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△2,085,868,973	△2,155,730,415	△2,050,770,621	△2,199,845,102	△2,250,087,115	△2,284,063,796
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△2,920,300,556	△2,906,820,620	△2,883,641,147	△2,854,654,332	△2,844,305,688	△2,821,615,371
(配 当 等 相 当 額)	(29,535,727)	(29,610,014)	(29,665,411)	(29,575,781)	(29,710,871)	(29,664,536)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△2,949,836,283)	(△2,936,430,634)	(△2,913,306,558)	(△2,884,230,113)	(△2,874,016,559)	(△2,851,279,907)
(G) 合 計 (D + E + F)	△5,071,230,106	△4,960,022,784	△5,091,430,040	△5,099,138,360	△5,132,612,199	△5,005,016,752
(H) 収 益 分 配 金	△16,529,201	△16,447,354	△16,308,206	△16,138,184	△16,072,304	△15,938,091
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△5,087,759,307	△4,976,470,138	△5,107,738,246	△5,115,276,544	△5,148,684,503	△5,020,954,843
追 加 信 託 差 損 益 金	△2,920,300,556	△2,906,820,620	△2,883,641,147	△2,854,654,332	△2,844,305,688	△2,821,615,371
(配 当 等 相 当 額)	(29,543,560)	(29,614,076)	(29,671,324)	(29,579,928)	(29,714,444)	(29,667,633)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△2,949,844,116)	(△2,936,434,696)	(△2,913,312,471)	(△2,884,234,260)	(△2,874,020,132)	(△2,851,283,004)
分 配 準 備 積 立 金	462,794,131	456,330,470	446,025,748	435,366,632	425,944,887	416,257,929
繰 越 損 益 金	△2,630,252,882	△2,525,979,988	△2,670,122,847	△2,695,988,844	△2,730,323,702	△2,615,597,401

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 173 期	第 174 期	第 175 期	第 176 期	第 177 期	第 178 期
(a) 経費控除後の配当等収益	12,297,315円	12,487,920円	10,166,032円	10,342,621円	8,679,483円	10,006,193円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	29,543,560	29,614,076	29,671,324	29,579,928	29,714,444	29,667,633
(d) 分 配 準 備 積 立 金	467,026,017	460,289,904	452,167,922	441,162,195	433,337,708	422,189,827
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	508,866,892	502,391,900	492,005,278	481,084,744	471,731,635	461,863,653
(f) 1万口当たり当期分配対象額	615.72	610.91	603.38	596.21	587.01	579.57
(g) 分 配 金	16,529,201	16,447,354	16,308,206	16,138,184	16,072,304	15,938,091
(h) 1万口当たり分配金	20	20	20	20	20	20

■分配金のお知らせ

決 算 期	第 173 期	第 174 期	第 175 期	第 176 期	第 177 期	第 178 期
1 万口当たり分配金	20円	20円	20円	20円	20円	20円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

グローバル高金利通貨マザーファンド 運用報告書

第15期（決算日 2023年3月8日）

（計算期間 2022年3月9日～2023年3月8日）

グローバル高金利通貨マザーファンドの第15期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則、無期限です。
運用方針	この投資信託は、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	世界各国の公社債。
主な組入制限	株式への投資割合は、転換社債の転換および新株予約権の行使により取得したものに限り、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		債券組入率 比	債券先物率 比	純資産額
		騰落	中率			
11期（2019年3月8日）	円		%	%	%	百万円
	11,060	△2.6		96.0	—	5,157
12期（2020年3月9日）	10,381	△6.1		96.1	—	4,012
13期（2021年3月8日）	11,070	6.6		96.6	—	3,575
14期（2022年3月8日）	10,840	△2.1		97.6	—	2,933
15期（2023年3月8日）	12,796	18.0		98.6	—	2,937

（注1）債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

（注2）当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

（注3）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

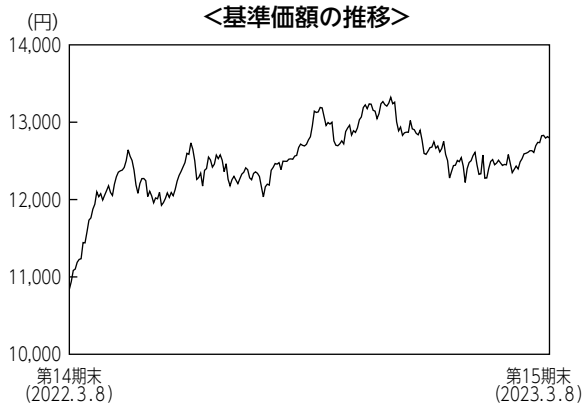
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組 入 率 比	債 券 先 物 率 比
		騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2022 年 3 月 8 日	円 10,840	% -		% 97.6	% -
3 月 末	12,076	11.4		97.3	-
4 月 末	12,207	12.6		97.4	-
5 月 末	12,238	12.9		96.1	-
6 月 末	12,578	16.0		96.7	-
7 月 末	12,298	13.5		96.6	-
8 月 末	12,701	17.2		96.8	-
9 月 末	12,759	17.7		96.2	-
10 月 末	13,238	22.1		96.6	-
11 月 末	12,895	19.0		96.2	-
12 月 末	12,431	14.7		95.9	-
2023 年 1 月 末	12,474	15.1		96.3	-
2 月 末	12,739	17.5		97.9	-
(期 末) 2023 年 3 月 8 日	12,796	18.0		98.6	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2022年3月9日から2023年3月8日まで）



基準価額の推移

当ファンドの基準価額は12,796円（1万口当たり）となり、前期末比で18.0%上昇しました。

基準価額の主な変動要因

主要な先進国・新興国において、高まるインフレへの対応のため、政策金利の引き上げが実施された一方、日本銀行は緩和的な金融政策を維持したことで、内外の金融政策の格差が拡大し、主要通貨に対して大きく円安が進んだことが基準価額の上昇要因となりました。

投資環境

債券市場では、多くの主要な先進国・新興国の国債利回りが上昇（価格は下落）しました。新型コロナウイルス禍からの回復局面における供給制約や、ロシアによるウクライナ侵略を受けた原油や農産品価格の上昇から、世界的な高インフレ環境が継続し、各国の中央銀行が金融引き締めを進めたことが主な要因となりました。しかし、期末にかけてはインフレ率のピークアウトや、それに伴う中央銀行による引き締め姿勢の緩和観測から、多くの国で上昇幅を縮小しました。

為替市場では、多くの主要な先進国・新興国通貨に対して大きく円安が進みました。海外の主要な中央銀行において、高まるインフレ率の抑制を目的として金融引き締めの動きが進んだ一方、日本銀行は緩和的な金融政策を維持したことから、内外の金融政策の方向性や金利差が大きく拡大したことが主な要因となりました。一方で、海外主要国のインフレ率についてピークアウトの兆しが見られた2022年10月半ば以降は、そうした円安の一部が巻き戻される推移となりました。

ポートフォリオについて

ポートフォリオについては、高金利通貨建の国際機関債を中心に信用力の高い公社債の高位組み入れを維持しました。通貨配分に関しては、北米・中南米、アジア・オセアニア、中東・アフリカ、欧州の4地域についてそれぞれ25%程度とし、市場動向等に応じて比率の調整を行いました。当期は、2023年に予定されるトルコ大統領選挙・総選挙に向けて各種政策リスクの高まりが懸念されることから、2022年9月より同国の組み入れを停止し、南アフリカの比率を拡大しました。

今後の運用方針

新興国債券・為替市場は、ほぼすべての主要な先進国・新興国における金融引き締め動きが継続するとともに、それに伴う世界景気の先行き不透明感が増す状況下、選別的な動きが強まるものと考えます。各国の金融政策姿勢、ファンダメンタルズや政治情勢その他、個別に抱える課題は異なることなどから、国ごとのパフォーマンスが異なる展開を想定しており、これに留意した投資国の選別や配分を行う方針です。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	2円 (2) (0)	0.016% (0.016) (0.000)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	2	0.016	
期中の平均基準価額は12,496円です。			

(注1) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2022年3月9日から2023年3月8日まで)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外	トルコ	特殊債券	千トルコ・リラ 3,237	千トルコ・リラ 20,325 (19,500)
	ノルウェー	特殊債券	千ノルウェー・クローネ 2,641	千ノルウェー・クローネ 2,973 (-)
	メキシコ	特殊債券	千メキシコ・ペソ 6,712	千メキシコ・ペソ 19,385 (-)
	インド	特殊債券	千インド・ルピー 139,371	千インド・ルピー 31,946 (136,670)
	インドネシア	特殊債券	千インドネシア・ルピア 45,254,500	千インドネシア・ルピア 23,046,000 (25,000,000)
	ブラジル	特殊債券	千ブラジル・リアル 9,333	千ブラジル・リアル 15,286 (-)
国	南アフリカ	特殊債券	千南アフリカ・ランド 70,648	千南アフリカ・ランド 27,001 (6,000)
	ポーランド	特殊債券	千ポーランド・ズロチ 372	千ポーランド・ズロチ 927 (-)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2022年3月9日から2023年3月8日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うち B B 格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ノ ル ウ ェ ー	千ノルウェー・クローネ 25,700	千ノルウェー・クローネ 25,477	千円 326,875	% 11.1	% -	% -	% 1.1	% 10.0
メ キ シ コ	千メキシコ・ペソ 63,000	千メキシコ・ペソ 56,411	千円 428,030	14.6	-	-	2.7	11.9
イ ン ド	千インド・ルピー 209,900	千インド・ルピー 203,572	千円 342,002	11.6	-	-	3.9	7.8
イ ン ド ネ シ ア	千インドネシア・ルピア 47,000,000	千インドネシア・ルピア 44,972,895	千円 404,756	13.8	-	-	13.8	-
ブ ラ ジ ル	千ブラジル・レアル 14,100	千ブラジル・レアル 12,366	千円 327,092	11.1	-	-	7.7	3.4
南 ア フ リ カ	千南アフリカ・ランド 95,300	千南アフリカ・ランド 92,923	千円 685,779	23.3	-	-	2.1	21.3
ポ ー ラ ン ド	千ポーランド・ズロチ 13,000	千ポーランド・ズロチ 12,343	千円 381,150	13.0	-	-	-	13.0
合 計	-	-	千円 2,895,685	98.6	-	-	31.3	67.3

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示
外国（外貨建）公社債銘柄別

銘柄	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
				期		
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(ノルウェー)		%	千ノルウェー・クローネ	千ノルウェー・クローネ	千円	
IBRD 1.75 03/13/25	特 殊 債 券	1.7500	2,700	2,604	33,416	2025/03/13
NIB 1.375 06/19/23	特 殊 債 券	1.3750	23,000	22,872	293,458	2023/06/19
小 計	—	—	25,700	25,477	326,875	—
(メキシコ)		%	千メキシコ・ペソ	千メキシコ・ペソ	千円	
EIB 7.75 01/30/25	特 殊 債 券	7.7500	30,000	28,665	217,498	2025/01/30
IFC 7.25 02/02/24	特 殊 債 券	7.2500	18,000	17,245	130,854	2024/02/02
IFC 10/19/26	特 殊 債 券	0.0000	15,000	10,501	79,677	2026/10/19
小 計	—	—	63,000	56,411	428,030	—
(インド)		%	千インド・ルピー	千インド・ルピー	千円	
EBRD 5.0 01/15/26	特 殊 債 券	5.0000	32,900	31,077	52,209	2026/01/15
EBRD 5.15 02/16/24	特 殊 債 券	5.1500	105,000	102,553	172,289	2024/02/16
ASIAN DEV BANK 6.2 10/06/26	特 殊 債 券	6.2000	38,000	36,673	61,611	2026/10/06
IFC 6.3 11/25/24	特 殊 債 券	6.3000	34,000	33,267	55,890	2024/11/25
小 計	—	—	209,900	203,572	342,002	—
(インドネシア)		%	千インドネシア・ルピア	千インドネシア・ルピア	千円	
IBRD 4.6 02/09/26	特 殊 債 券	4.6000	25,000,000	23,919,995	215,279	2026/02/09
EBRD 4.6 12/09/25	特 殊 債 券	4.6000	22,000,000	21,052,900	189,476	2025/12/09
小 計	—	—	47,000,000	44,972,895	404,756	—
(ブラジル)		%	千ブラジル・レアル	千ブラジル・レアル	千円	
IFC 7.0 02/14/24	特 殊 債 券	7.0000	3,100	2,965	78,438	2024/02/14
IFC 4.25 07/16/25	特 殊 債 券	4.2500	10,000	8,571	226,710	2025/07/16
IBRD 11/14/24	特 殊 債 券	0.0000	1,000	829	21,943	2024/11/14
小 計	—	—	14,100	12,366	327,092	—
(南アフリカ)		%	千南アフリカ・ランド	千南アフリカ・ランド	千円	
ASIAN DEV BANK 6.55 01/26/25	特 殊 債 券	6.5500	32,000	31,069	229,295	2025/01/26
IBRD 08/02/23	特 殊 債 券	0.0000	2,000	1,934	14,276	2023/08/02
IFC 08/24/26	特 殊 債 券	0.0000	2,700	2,003	14,785	2026/08/24
EIB 8.5 09/17/24	特 殊 債 券	8.5000	24,000	24,214	178,705	2024/09/17
ASIAN DEV BANK 4.5 12/07/23	特 殊 債 券	4.5000	28,200	27,366	201,962	2023/12/07
EIB 8.125 12/21/26	特 殊 債 券	8.1250	6,400	6,335	46,754	2026/12/21
小 計	—	—	95,300	92,923	685,779	—
(ポーランド)		%	千ポーランド・ズロチ	千ポーランド・ズロチ	千円	
EIB 3.0 05/24/24	特 殊 債 券	3.0000	6,400	6,108	188,606	2024/05/24
EBRD 0.25 11/20/23	特 殊 債 券	0.2500	6,600	6,235	192,544	2023/11/20
小 計	—	—	13,000	12,343	381,150	—
合 計	—	—	—	—	2,895,685	—

■投資信託財産の構成

2023年3月8日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	2,895,685	98.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	41,531	1.4
投 資 信 託 財 産 総 額	2,937,217	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、2,933,858千円、99.9%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2023年3月8日における邦貨換算レートは、1ノルウェー・クローネ=12.83円、1メキシコ・ペソ=7.587円、1インド・ルピー=1.68円、100インドネシア・ルピア=0.90円、1ブラジル・リアル=26.449円、1南アフリカ・ランド=7.38円、1ポーランド・ズロチ=30.878円、1ユーロ=144.82円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年3月8日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,937,217,261円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	4,381,178
公 社 債(評価額)	2,895,685,611
未 収 利 息	28,776,804
前 払 費 用	8,373,668
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	2,937,217,261
元 本	2,295,333,646
次 期 繰 越 損 益 金	641,883,615
(D) 受 益 権 総 口 数	2,295,333,646口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,796円

(注1) 期首元本額 2,706,257,962円
追加設定元本額 -円
一部解約元本額 410,924,316円

(注2) 期末における元本の内訳
高金利通貨ファンド 2,295,333,646円
期末元本合計 2,295,333,646円

■損益の状況

当期 自2022年3月9日 至2023年3月8日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	172,763,006円
受 取 利 息	172,763,966
支 払 利 息	△960
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	344,333,201
売 買 益	429,776,422
売 買 損	△85,443,221
(C) そ の 他 費 用	△502,251
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	516,593,956
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	227,265,343
(F) 解 約 差 損 益 金	△101,975,684
(G) 合 計(D+E+F)	641,883,615
次 期 繰 越 損 益 金(G)	641,883,615

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。